

1 愛大防犯 POLICE (中村区)

地域自主防犯活動活発化事業

実施結果報告書

1 団体名	愛大防犯 POLICE
2 事業名	米野地区子供見守り活動等防犯事業
3 事業実施結果	<p>本年も前年同様無事活動を終えることができた。以下では本年の活動の状況を報告する。</p> <p>① 通常の活動について。昨年度までの小学生下校見守り活動はサークルのメンバーが少なかったということもあり、二つある門のうちの下校人数が多い側の門のみしか付き添うことができていなかった。しかしながら本年度からサークルのメンバーが格段に増えたこともあり、下校人数が少ない方の門についても付き添うようになった。これにより活動範囲が大幅に広がり、より多くの小学生の下校の見守りをするようになった。コンビニの巡回に関しては前年度行っていたコンビニ3か所に加え近くのスーパー内の巡回も行うようになった。</p>   <p>② 警察との活動について。本年下半期も中村警察署から依頼を受けて警察とともに活動することが何度かあった。闇バイトや飲酒運転などの啓発活動が主となるが、夏の安全なまちづくり啓発活動では武将隊の方とトークショーを、ゼロの日の交通啓発活動ではパトカーに乗っての巡回など少し今までとは異なる活動もした。また警察の協力もあって京都の学生防犯団体や愛知の防犯団体と交流する機会を得られた。この交流会では他の団体のよき点や活動などを自身のサークルに取り入れるきっかけとなり有意義なものであった。</p>



③ ライオンズクラブとの活動について。本年度から警察との活動に加えてライオンズクラブの方との活動が増えた。主な活動としては献血の呼び込みが多いが、池の蓮駆除などの変わった活動もあった。防犯とは直接的な関係はないものの地域への貢献という意味では有意義なものであった。

3 事業実施 結果



4 成果と課題
及び今後の
取組み

(1) 事業実施の成果及び課題

昨年より関わる小学生の人数が増え、下校範囲も増えたことから、地域の人目に触れることが多くなった。それに伴い地域の人から声を掛けられ、感謝されることが多くなった。これはこのサークルを続けてきた成果であろう。課題としては、活動の参加メンバーが継続的に大人数確保できないところにある。年度末にかけて参加メンバーが減る傾向があることから上半期に活動の幅を広げても下半期に人員が足りなくなってしまうことがある。これについては今後解決していかなければならないと思う。

(2) 今後の取組み

通常の活動や警察との活動、ライオンズクラブとの活動は継続的に行うのはもちろん、12月に行った地域清掃活動についても継続的に続けていきたいと思う。また、参加人員の問題について解決のために新たな制度の導入などを行い解決に向かいたいと思う。

